日本都市学会・近畿都市学会合同大会（京都大会）特集号

# 近畿都市学会報

第１８８号

２０１４年８月２０日

近畿都市学会

## 近畿都市学会・連絡先

■ 近畿都市学会事務局

〒599－8531
大阪府堺市中区学園町１番１号
大阪府立大学経済学研究科綿貫研究室内
近畿都市学会　事務局長：井上馨
＞Ｅメール：info@kintoshi.org
＞ホームページ：http://www.kintoshi.org/
＞電話：072-254-9564（研究室直通）

会費納入先：ゆうちょ銀行　振替口座

00990－7－86235　近畿都市学会

※ゆうちょ以外の金融機関からは下記で送金できます。
ゆうちょ銀行　〇九九店（ゼロキユウキユウ店）
当座　0086235　キンキトシガ゛ツカイ

■ 近畿都市学会編集委員会 宛先

（原稿等はすべてこちらにお願いします）

〒530－0001
大阪市北区梅田1－2－2－600
大阪駅前第２ビル６階
大阪市立大学大学院 創造都市研究科内
近畿都市学会　編集委員会
（担当）副編集長：小長谷一之
＞電話：090－4649－2590
＞ファックス：072－721－0064
＞Ｅメール：konagaya@zc4.so-net.ne.jp

## Ⅰ．２０１４（平成２６）年度
## 日本都市学会・近畿都市学会合同大会のお知らせ

**日本都市学会会員のみなさまには既にお知らせがいっていると思いますが、１０月２４（金）・２５日（土）・２６日（日）の３日間、京都市・同志社大学の後援のもと、近畿都市学会と日本都市学会が主催となり、日本都市学会第６１回大会を開催いたします。近畿都市学会が中心として準備をすすめてまいりました。市長、京大元総長の講演も予定しております。ふるってご参加ください！（エクスカーションは申込を締め切っております。研究発表題目を含む全プログラムは近畿都市学会ホームページhttp://www.kintoshi.org/に掲載しております。）**

**■日本都市学会第６１回大会について**

**１．日時：２０１４（平成２６）年１０月２４（金）・２５日（土）・２６日（日）**

**２．発表・シンポジウム会場：同志社大学今出川キャンパス「至誠館」「明徳館」（〒602-8580 京都府京都市上京区 今出川通り烏丸東入（からすまひがしいる））**

**ホームページ→　http://www.doshisha.ac.jp/　（地図は６ページ）**

**３．主催：日本都市学会・近畿都市学会**

**４．後援：京都市・同志社大学**

**５．大会テーマ：都市・文化・まちづくり－新しい都市学の成立をめざして－**

**６．プログラム（予定）**

**【２０１４年１０月２４日（金）】（予定）**

**●エクスカーション「Ａ：京都の都心景観と京町家を観る」（地図は７ページ）**

**※入館料（団体割引）1800円をご予定ください。**

**①　集合：京都国際マンガミュージアム玄関に午後１時**

**②　京都国際マンガミュージアム（元龍池小学校）**

施設見学、エクスカーション全体説明、京都の景観政策の説明
（移動途中、ＮＨＫ京都放送局新築工事現場）

③　釜座町町家「斧家」
京町家再生研究会による町家改修の説明

④　紫織庵（川崎家住宅：有形文化財）
（移動途中、三井ガーデンホテル京都新町別邸、無名舎（吉田邸）、
京都学園大学京町家キャンパス（小島邸）

⑤　京都市立芸術センター（元明倫小学校）

⑥　膏薬図子

⑦　京都市学校歴史博物館（元開地小学校）

●エクスカーション「Ｂ：伝統と文化の町東山を歩く」（地図は７ページ）

①　集合：京都市東山区役所 正面玄関に午後１時

②　東山区長から東山区のまちづくりについて説明
東山「観光・交通・環境」協力会議
手しごと職人のまち

③　京都市景観・まちづくりセンターから東山の町なみ保存修景取組み説明

④　八坂通の町なみ動態保存

⑤　ねねの道、一念坂、二年坂、町なみ凍結保存

⑥　轆轤町ＨＡＰＳ・大国町 あじき路地

⑦　京都市開晴小中、旧藤平のぼり窯、河合寛次郎記念館

⑧　京都市景観・まちづくりセンターの説明

●夕方６時より日本都市学会理事会（京都市景観・まちづくりセンター）を予定

【２０１４年１０月２５日（土）】（地図は６ページ）

（午前）９時～１２時２０分を予定

●研究発表Ⅰ（今出川キャンパス　至誠館）
昼食

（午後）午後１時～～午後５時３０分を予定
（今出川キャンパス　明徳館、総合司会：山崎健（神戸大学教授））

●開会挨拶　戸所 隆（日本都市学会会長）
碓井照子（近畿都市学会会長）

●特別講演：尾池和夫（京都造形芸術大学学長、元京都大学総長）
「京都百万年の歴史」

●基調講演：門川大作（京都市長）
「世界の文化首都の役割を担う京都の挑戦」

●シンポジウム（司会：徳岡一幸（同志社大学教授））
テーマ「都市・文化・まちづくり－新しい都市学の成立をめざして－」
趣旨説明：山田浩之（京都大学名誉教授）
パネリスト：西口泰夫（㈱HANDY社長、元京セラ社長）
平竹耕三（京都市文化市民局長）
宗田好史（京都府立大学教授）

●日本都市学会賞授賞式

●日本都市学会総会

●懇親会（会場は　french restaurant will（同志社大学室町キャンパス「寒梅館」

**７階）を予定）**

**【２０１４年１０月２６日（日）】（地図は６ページ）**
**（午前）９時～～１２時２０分を予定**
**●研究発表Ⅱ（今出川キャンパス　至誠館）**

## Ⅱ．近畿都市学会２０１４年度春季大会（５５周年記念出版大会）のご報告

２０１４年度春季大会（５５周年記念出版大会）は、６月２１日（土）に奈良大学本部棟で開催されました。午前中に以下の４件の一般研究報告をおこないました。
［１］「京阪神交通圏における鉄道需要と都市構造」小川雅司（羽衣国際大学 現代社会学部准教授）　［２］「大阪大都市圏郊外住宅地の形成と変容」安田孝（大阪商業大学大学院非常勤講師）　［３］「東日本大震災前後の石巻市を中心とした人口動向」小島健太郎（奈良大学大学院文学研究科・院生）　［４］「地方都市における復興博覧会の都市観光再生に果たした役割～戦災と自然災害からの復興－観光高松大博覧会を事例として～」桑田政美（神戸国際大学教授）
午後に理事会・評議員会、碓井新会長挨拶・総会を開催したあと、加藤恵正（近畿都市学会評議員・兵庫県立大学政策科学研究所所長）コーディネータにより、近畿都市学会創立５５周年記念出版大会特別シンポジウム「都市構造と都市政策」をおこないました。
《１》基調講演「都市のコンパクト化と交通」近藤勝直氏（流通科学大学名誉教授・関西鉄道協会都市交通研究所企画委員）
パネリスト　《２》松澤俊雄（近畿都市学会理事・大阪市立大学名誉教授）「都市構造の変容（交通）―通勤・通学流動と都市交通」　《３》碓井照子（近畿都市学会理事・奈良大学名誉教授）「市民参加とＧＩＳ」　《４》久 隆浩（近畿都市学会理事・近畿大学総合社会学部教授）「ポスト近代社会に求められるまちづくりの新たなしくみ」
《５》パネルディスカッション　活発な討論がおこなわれ、懇親会もふくめて、盛況のうちに終わりました。

## Ⅲ．近畿都市学会理事会等のご報告

近畿都市学会２０１４年度第１回理事会は、春季大会当日２０１４年６月２１日に奈良大学会場にて行われ、予算決算、役員案、各事業報告・事業計画（総会報告・議案含む）を決定しました。近畿都市学会２０１４年度第２回理事会は、２０１４年８月１２日（火）に大阪市立大学文化交流センター談話室（大阪駅前第２ビル６階）で開催され、２０１４年度秋季合同大会（日本都市学会と合同、京都市）の準備を検討しました。近畿都市学会合同大会実行委員会・プログラム会議を２０１４年９月３日（水）に大阪市立大学文化交流センター談話室（大阪駅前第２ビル６階）で開催しました。

## Ⅳ．日本都市学会第６２回大会（関東担当、上越市で開催予定）のお知らせ。

**日本都市学会第６２回大会（２０１５年度）は、特別に関東都市学会と中部都市学会の順序のご調整により、２０１５年度は関東都市学会が担当し、２０１５年１０月下旬に上越市で開催の予定です。**詳細はホームページで追って連絡してまいります。学会員の皆様はスケジュールの調整をよろしくお願いいたします。くわしくは、日本都市学会ホームページ http://www.toshigaku.org/　をご覧下さい。

## Ⅴ．日本都市学会理事会のご報告

日本都市学会２０１４年度第１回理事会は、２０１４年６月８日（日）に名古屋都市センターで開催され、２０１３年度事業報告・決算、２０１４年度事業計画・予算案、２０１４年度大会（上記の近畿担当、京都市）を議論しました。日本都市学会２０１４年度第２回理事会は、２０１４年９月７日（日）に名古屋都市センターで開催され、２０１４年度大会のプログラム、年報発行等を議論し、学会賞の承認をおこないました。

## Ⅵ.『都市研究』１４号にふるってご投稿ください。

【都市研究１４号の査読論文の公募について】（編集長：綿貫伸一郎、副編集長：小長谷一之）第１４号の査読論文を募集いたします。締切は２０１４年１０月３０日です。執筆要項は『都市研究』の各号に掲載しておりますので、会員のみなさまのご投稿をお待ちしております。なお、投稿は巻頭の編集委員会までお願いいたします。

## Ⅶ．２０１４年度総会報告

春季大会において、2013 年度決算、2014 年度予算、2014/5 年役員案が以下の通りに承認されました。

**■近畿都市学会２０１３年（平成２５年）度決算　（２０１３年５月１日～２０１４年４月３０日）**

| 収入の部 | 予算額 | 決算額 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 会費 | ¥1,200,000 | ¥840,000 | |
| 寄付・その他 | ¥200 | ¥48,039 | 銀行金利、「都市研究」販売 |
| 積立金 | ¥100,000 | ¥100,000 | 創立55周年記念出版用（南都¥100,000） |
| 前年度繰越金 | ¥379,078 | ¥379,078 | ゆうちょ¥32,000、南都¥316,472、現金¥30,606 |
| 計 | ¥1,679,278 | ¥1,367,117 | |

| 支出の部 | 予算額 | 決算額 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 日本都市学会費 | ¥540,000 | ¥496,000 | 2013年度分124口　在籍147(名誉1を除く)×85% |
| 大会運営費 | ¥150,000 | ¥92,720 | 春季大会、秋季大会 |
| 会議費 | ¥10,000 | ¥0 | |
| 印刷費 | ¥420,000 | ¥294,615 | 「都市研究」12号、会報第182-185号 |
| 人件費 | ¥30,000 | ¥14,000 | 発送アルバイト |
| 通信費 | ¥120,000 | ¥114,425 | ホームページ費用を含む |
| 運搬交通費 | ¥50,000 | ¥20,000 | 日本都市学会理事会（名古屋）会長交通費 |
| 消耗品費 | ¥40,000 | ¥14,609 | 封筒、文具 |
| 雑費 | ¥10,000 | ¥2,640 | 振込手数料 |
| 積立金 | ¥0 | ¥0 | |
| 予備費 | ¥309,278 | ¥186,072 | 『21世紀…』5冊、『都市構造…』60冊 |
| 次年度繰越金 | ¥0 | ¥132,036 | ゆうちょ¥48,000、南都¥3,969、現金¥80,067 |
| 計 | ¥1,679,278 | ¥1,367,117 | |

■近畿都市学会２０１４年（平成２６年）度予算　（２０１４年５月１日～２０１５年４月３０日）

| 収入の部 | 予算額 | 前年度比 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 会費 | ¥1,400,000 | ¥200,000 | |
| 寄付・その他 | ¥200 | ¥0 | 銀行金利を含む |
| 積立金 | ¥0 | ¥-100,000 | |
| 前年度繰越金 | ¥132,036 | ¥-247,042 | ゆうちょ¥48,000、南都¥3,969、現金¥80,067 |
| 計 | ¥1,532,236 | ¥-147,042 | |

| 支出の部 | 予算額 | 前年度比 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 日本都市学会費 | ¥540,000 | ¥0 | 年報48号（2014年度） |
| 大会運営費 | ¥150,000 | ¥0 | 春季、秋季（日本） |
| 会議費 | ¥10,000 | ¥0 | 理事会等 |
| 印刷費 | ¥400,000 | ¥-20,000 | 『都市研究』第13号、会報各号 |
| 人件費 | ¥30,000 | ¥0 | |
| 通信費 | ¥120,000 | ¥0 | ホームページ費用を含む |
| 運搬交通費 | ¥40,000 | ¥-10,000 | 日本都市学会理事会（名古屋）会長交通費等 |
| 消耗品費 | ¥40,000 | ¥0 | |
| 雑費 | ¥10,000 | ¥0 | |
| 積立金 | ¥0 | ¥0 | |
| 予備費 | ¥192,236 | ¥-117,042 | |
| 計 | ¥1,532,236 | ¥-147,042 | |

■２０１４－２０１５年度役員（５０音順、原則として任期 2014 年 6 月～2016 年 5 月）

（会長）碓井照子

（理事）編集：綿貫伸一郎（委員長）、小長谷一之、佐々木雅幸、松澤俊雄
集会：山崎健（委員長）、石田信博、久隆浩、山田浩之
庶務：井上馨（事務局長）、酒井高正、實清隆

（評議員）井出光、稲垣稜、香川貴志、加藤一誠、加藤恵正、坂西明子、
佐藤彰男、佐野光彦、関根秀和、醍醐昌英、高山正樹、淡野明彦、寺本光雄、
徳岡一幸、長尾謙吉、中川万喜子、藤井正、前川知史、増田昇、三輪康一、
文世一、安田孝、安田丑作、山田誠

（監査）竹内正人、森信之

（幹事）井垣貴子、上田恵美子、牛場智、小畑和也、久保秀幸、後藤暁夫、中西久雄、
村田和繁、吉川浩

（事務局）大阪府立大学経済学研究科（綿貫伸一郎研究室）

【名誉会員】（日本都市学会在籍）：小杉八朗、小森星児、竹村保治、成田孝三、西川幸治
（近畿のみ）：天野光三、石原照敏、大久保昌一、岡本登太郎、金坂清則、
倉田和四生、近藤公夫、田口芳明、鳴海邦碩、西田彦一、野口隆、宮本憲一、
三輪雅久、安井司、山本剛郎、吉井藤重郎

【参考：日本都市学会関係（2014 年度分）】

（理事）＜支部会長理事＞碓井照子　＜支部選出理事＞山崎健、久隆浩

（常任理事）小長谷一之

（監事）高山正樹

■会則改正（2014 年 6 月 21 日総会）　［新会則の全文は学会ホームページに掲載］

●第１章　総則　第１条

（旧）本会は近畿都市学会と称し、日本都市学会近畿支部を兼ねる。＝＞（改正）本会は近畿都市学会と称し、日本都市学会近畿支部を兼ねる。創立日は 1957 年 4 月 20 日である。

【改正理由】創立日を会則中に記載するよう金融機関から指示されているため。

●第１章　総則　第２条

（旧）本会の事務所は奈良大学文学部地理学教室内に置く。＝＞（改正）本会の事務所は大阪府堺市中区学園町１番１号に所在する大阪府立大学経済学研究科綿貫研究室内に置く。

【改正理由】事務局を移転するため。また、事務局所在地を会則中に記載するよう金融機関から指示されているため。

●附則

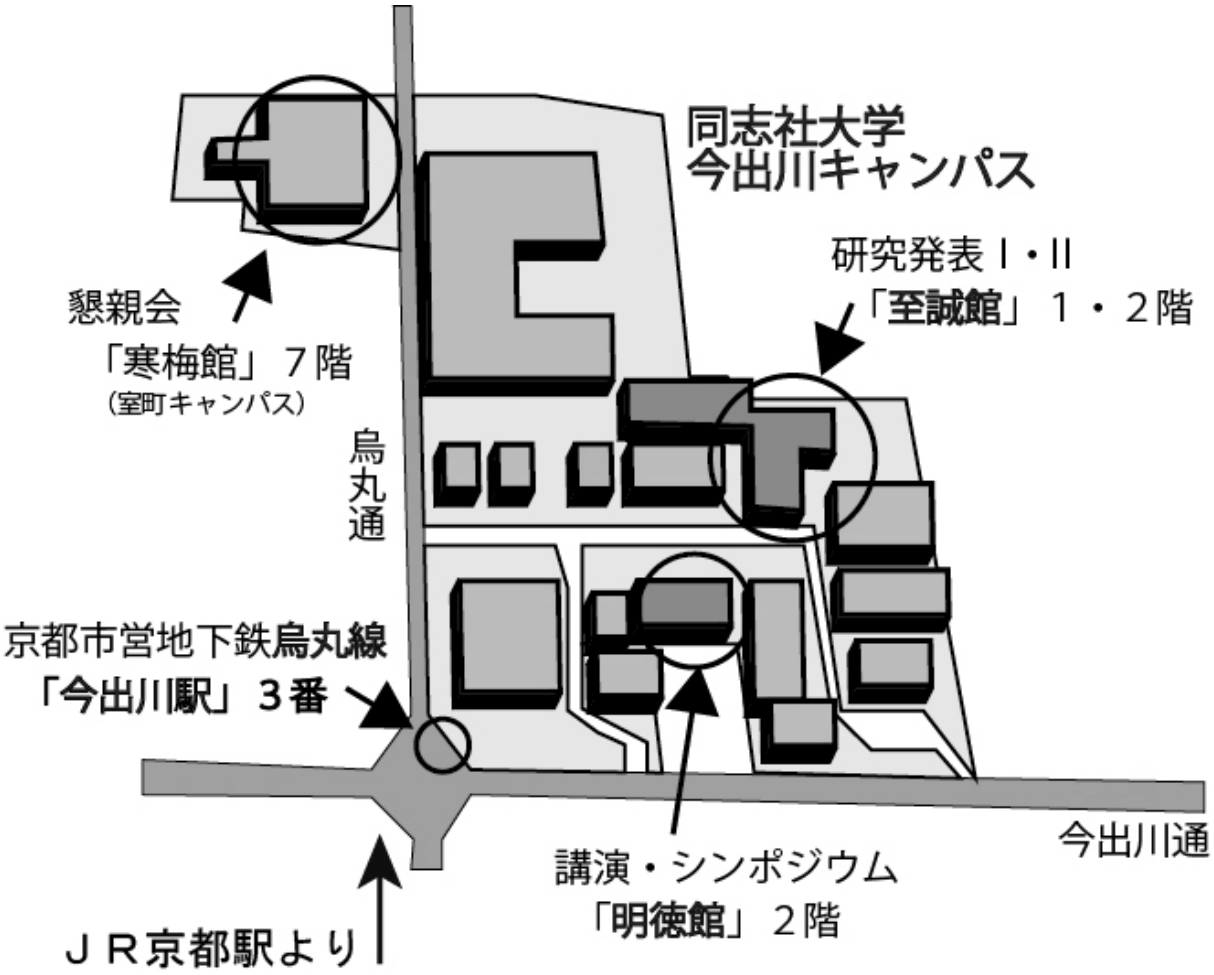
（旧）本会則は、2013 年 6 月 15 日から施行する。＝＞（改正）本会則は、2014 年 6 月 21 日から施行する。

## Ⅷ．２０１４（平成２６）年度 日本・近畿都市学会合同大会 会場地図

# 【会場】同志社大学 今出川キャンパス（至誠館・明徳館）

〒602-8580 京都府京都市上京区 今出川通り烏丸東入（からすまひがしいる）

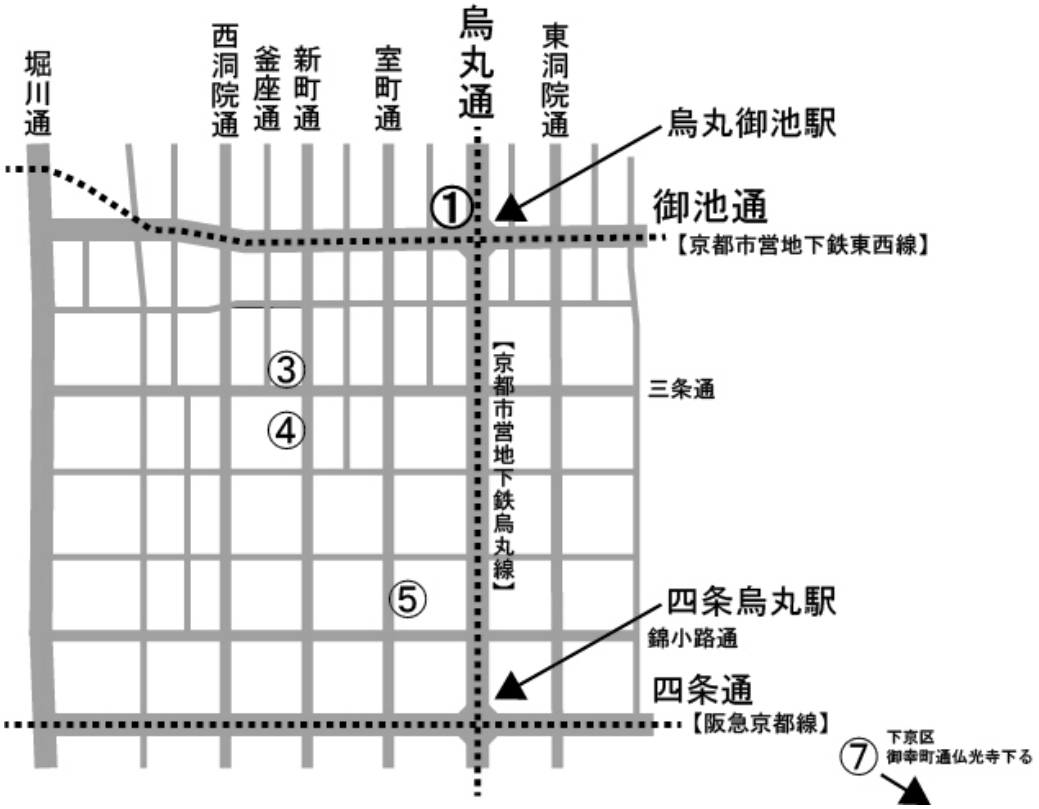
**（１）京都市営地下鉄烏丸線「今出川駅」３番出口（烏丸今出川交差点）から東へすぐ**です。**（２）京都市営地下鉄烏丸線「今出川駅」へは、**ＪＲ「京都駅」から約９分地下鉄乗車。阪急「烏丸四条駅」から約６分地下鉄乗車、京阪「出町柳駅」から徒歩約１５分です。



## 【エクスカーションＡコース】（マル番号はプログラムに対応）

**集合場所＝①京都国際マンガミュージアム玄関**

（１）京都市営地下鉄の烏丸線または東西線「烏丸御池駅」２番出口より階段上りＵターン→烏丸御池交差点の北西角を左折し、烏丸通を北へすぐ。




## 【エクスカーションＢコース】（マル番号はプログラムに対応）

**集合場所＝①東山区役所正面玄関**

（１）京阪電車「五条駅」下車 徒歩 10 分。または（２）地下鉄東西線「東山」駅下車（市バス 100、202，206 に乗換）。（３）市バス「清水道」下車 南へ徒歩すぐ。

# 刊行『都市構造と都市政策』

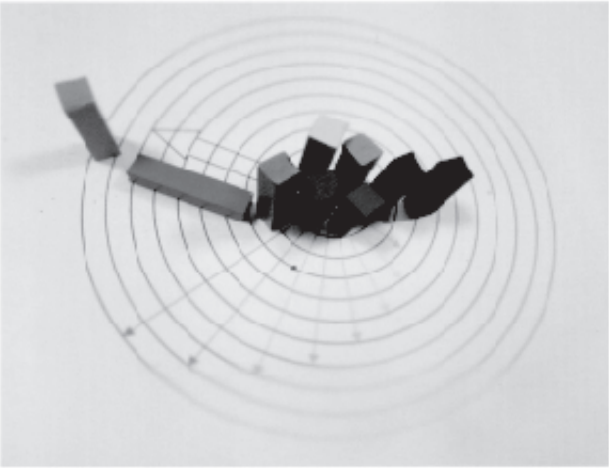
## **都市政策の具体化、構造化、総合化**をめざして

## ーいま、都市構造からみる都市政策

**■２１世紀は人類の過半が都市民となる「都市の時代」！**
すぐれて空間的な存在で、都市問題、都市経済、都市経営、都市計画、都市地理の一大転換期にある「都市」の課題を構造的に整理し、都市政策を具体的に検討

**■ 都市政策は一大転換期（モダンからポストモダンへ）！**
急速な都市化の影で、先進国の都市は、都市間競争の激化、人口減少社会への突入、産業空洞化など、近代都市の発展の前提条件が崩れ、近代以来はじめて直面する（ポストモダン的な）環境変化に、都市環境や経済基盤の構造的再編が否応なく求められています！新たな課題の出現によって「都市政策・地域づくり」はかつてない転換期に！

**■ いま、新たな視点で【２１世紀の都市政策の課題を構造的・総合的に整理】！**



**近畿都市学会 編　２８８ページ**

**2014 合同大会会場では非会員でも２割引の会員価格となります**
会員は常に割り引ます。以下の担当に会員であることを明記しメールでご注文ください。
古今書院：担当　原氏　hara@kokon.co.jp　03-3291-2757

### 第Ⅰ部 ２１世紀の都市構造の諸問題
「都市構造の変容（交通）」
「都市構造の変容（歴史と展望）」
「コンパクトシティ」
「都市構造と公共交通政策」
「人口変動と都市圏構造」
「高齢化と都市交通」
「郊外論１ー居住と通勤」
「郊外論２ー郊外の空洞化」
「都市発達史的にみた日本のニュータウンの特徴と再生に向けた都市政策」
「中心市街地の衰退と再生」
「人口の都心回帰」

### 第Ⅱ部 セクター別の構造と政策
「住宅市場の構造と特性」
「商業と都市構造の変化」
「都市における物流施策」
「工業と都市構造／政策」
「都市型新産業と都市構造／政策ー大阪湾ベイエリアはBPE（Branch Plant Economy）の罠から逃れることはできるのか？」
「都市型新産業と都市構造／政策ーＩＴ・クリエイティブ系オフィス」

### 第Ⅲ部 都市構造とまちづくり
「ＧＩＳとまちづくり（市民参加）」
「都市の発展と文化政策」
「都市と観光」
「医療・福祉とまちづくり」
「新たな社会システムとしての住民主体のまちづくり」
「歴史資産を活かしたまちづくり」

### 第Ⅳ部 都市構造と都市経営
「行財政論」
「都市経営の手法（PPP・PFI 事業：NPM）と都市構造／政策」
「都市構造と防災政策」
「海外の都市政策の動向１ーイギリス」
「海外の都市政策の動向２ー欧州を中心に」
「海外の都市政策の動向３ー創造階級論と都市の創造性」